

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立広南中学校
(広南中学校区)

全国平均値との差 (英語については、「話すこと」調査を除く)

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	+13.2	+3.0	+2.4
令和4年度	+3.0	-1.4	—

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

科目	本校	全国平均	県平均	重点課題	改善の方策	検証
国語	83.0%	69.8%	70.0%	◎文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。(設問3二 64.7% (平均正答率 43.9%) ◇具体と抽象など情報と情報との関係について理解することに課題がある。(設問3三)【情報の取り扱い方に関する事項】64.7% (平均正答率 61.8%)	◎Qubena を活用し、反復練習させる。また、国語科の学習に加えて、他教科や総合的な学習の時間において、適切に漢字を用いるよう指導する。 ◇「具体と抽象」の意味を捉えた上で、身の回りの事例を結び付けて捉えることができるよう指導する。また、自分が書いた文章を推敲する際は、段落相互の関係を具体と抽象の関係という観点で見直したり、内容で分けた文章のまとまりに小見出しをつけたりする学習活動を行う。	◎漢字の使い方に関する問題 (全学年, 2月) 目標 80% ◇全国学力 (設問3三) の類似問題 (第2・3学年, 2月) 目標 75%
	<p>我が国の言語文化</p> <p>書くこと</p> <p>読むこと</p> <p>言葉の特徴や使い方</p> <p>情報の扱い方</p> <p>話すこと・聞くこと</p>					
数学	54.0%	51.0%	49.0%	◎「自然数」や「四分位範囲」などの数学の用語を正しく理解し答えを導く問題の正答率が低い。また、数学の用語を適切に用いて説明することに課題がある。(設問1)29.4% (平均正答率 46.1%), (設問7(1))58.8% (平均正答率 65.7%) ◇かっこや分数を含む式で、分配法則を利用し計算することに課題がある。(設問2) 70.6% (平均正答率 80.5%)	◎知識の定着を図るために、小テストで既習事項を出題する。また授業で、既習事項の定義を再確認する。 ◇かっこを含む式、分数を含む式をそれぞれ別々に復習するなど、課題を分割し再度学習する。	◎全国学力 (設問1) の類似問題 (全学年, 1月) 目標 50% 全国学力 (設問7(1)) の類似問題 (第3学年, 1月) 目標 70% ◇全国学力 (設問2) の類似問題 (第2・3学年, 1月) 目標 85%
	<p>数と式</p> <p>図形</p> <p>関数</p> <p>データの活用</p>					
英語	48.0%	45.6%	43.0%	◎概要を捉えるために必要となる文と文との関係を正確に読み取ることに課題がある。(設問7(1))【読むこと (選択式)】47.1% (平均正答率 59.8%) ◇日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。(設問10)【書くこと】11.8% (平均正答率 7.4%) (小学校においては、小学校外国語【書くこと】の目標に準ずる。)	◎説明文や物語文など、まとまりのある文章を読んで概要を把握する言語活動を増やす。その際、接続詞や代名詞などに注目させながら、段落内の情報の関係を正確に把握できるように指導する。 ◇書く内容を相手や目的に応じて選んだり、5W1Hを意識しながら全体の構成を考えたり、文と文のつながりを示す語句を効果的に用いたりしながら書くことができるよう指導する。また、他領域の活動を書くことの活動につなげていく指導を行う。	◎全国学力 (設問7(1)) の類似問題 (第2～3学年, 2月) 目標 70% ◇全国学力 (設問10) の類似問題 (第3学年, 2月) 目標 50%
	<p>聞くこと</p> <p>読むこと</p> <p>話すこと</p> <p>書くこと</p> <p>※「話すこと」は、全国値のみ推定値</p>					

【来年度に向けて】